

2021年 第4号

本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊いたします。

新型コロナウイルスにより、テレワーク導入や、オンライン商談、キャッシュレス決済、モバイルオーダー等、IT化の流れが加速しました。

今回は、前号アンケート内でも関心の高かった、IT化についてフォーカスしました。



大野町商工会

<https://www.gifushoko.or.jp/oono/>

TEL 0585-32-0667

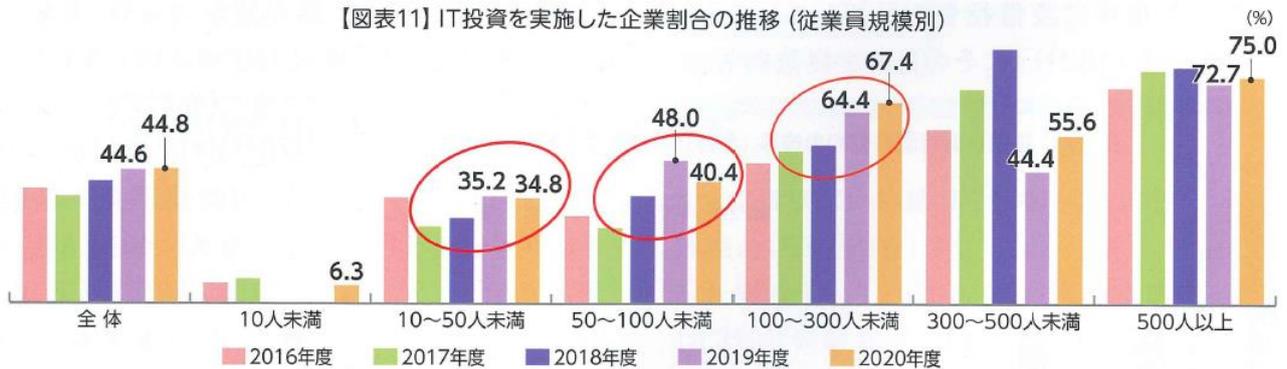
FAX 0585-34-3370

▶IT投資

以下は、株式会社十六銀行総合研究所が、岐阜県・愛知県の企業 204 社に対し、2021 年 3 月に実施したアンケート結果です。

2020 年度中に IT 投資を利用した企業の割合は、3 年連続で上昇した。従業員規模別で見ると、規模が多くなるにつれ、割合が増えるが、新型コロナウイルス感染症流行後の 2019 年以降は、300 人未満の企業が特に増加傾向にある。

【図表11】IT投資を実施した企業割合の推移（従業員規模別）



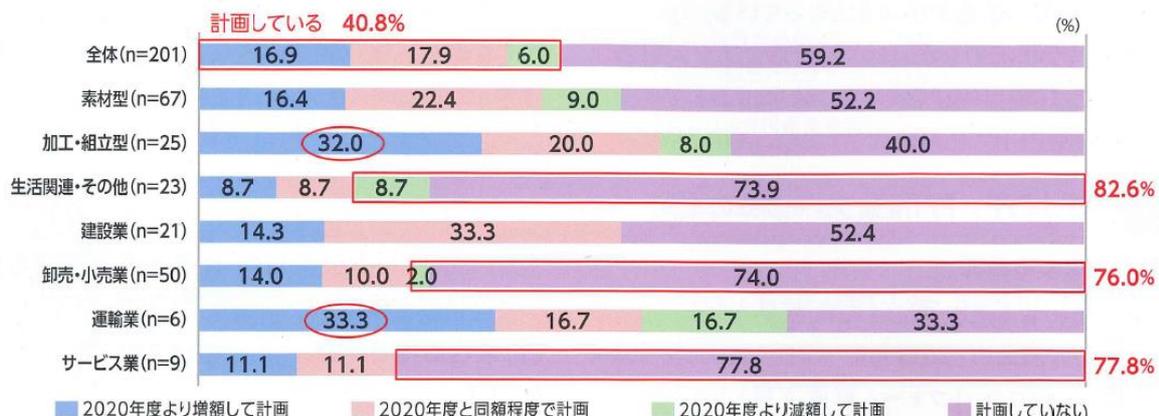
業種別では、加工・組立型に次いで卸売・小売業で高い割合を示した。特に、卸売・小売業は大きく上昇した。

【図表12】IT投資を実施した企業割合の推移（業種グループ別）



2021 年の IT 投資計画は、2020 年度を下回る見通しである。業種別では、運輸業や加工・組立型では引き続き、計画の割合が大きい。一方、卸売・小売業やサービス業では、昨年に比べ、計画していない企業が多く、業種により差があることがわかる。

【図表14】2021年度中の国内のIT投資計画（業種グループ別）



IT 投資を計画している企業に、その目的を複数回答で尋ねたところ、「合理化・省力化・コスト削減」が最も多く、次いで、「働き方改革（テレワーク環境整備など）」となりました。

コロナにより、先行きが不透明な中でも、「合理化・省力化・コスト削減」や、「既存設備の補修・更新」等前向きな投資も多く見られます。また、テレワーク環境の整備、情報発信強化等も多く、コロナに対応した IT 投資もまだ続いている状態にあるようです。

【図表15】2021年度中の国内のIT投資計画の目的（全体） n=81 (%)



[出典：(株)十六銀行総合研究所 岐阜県・愛知県の企業204社に対し、2021年3月に実施したアンケート結果]

DX（デジタルトランスフォーメーション）

最近、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉をよく聞きませんか。

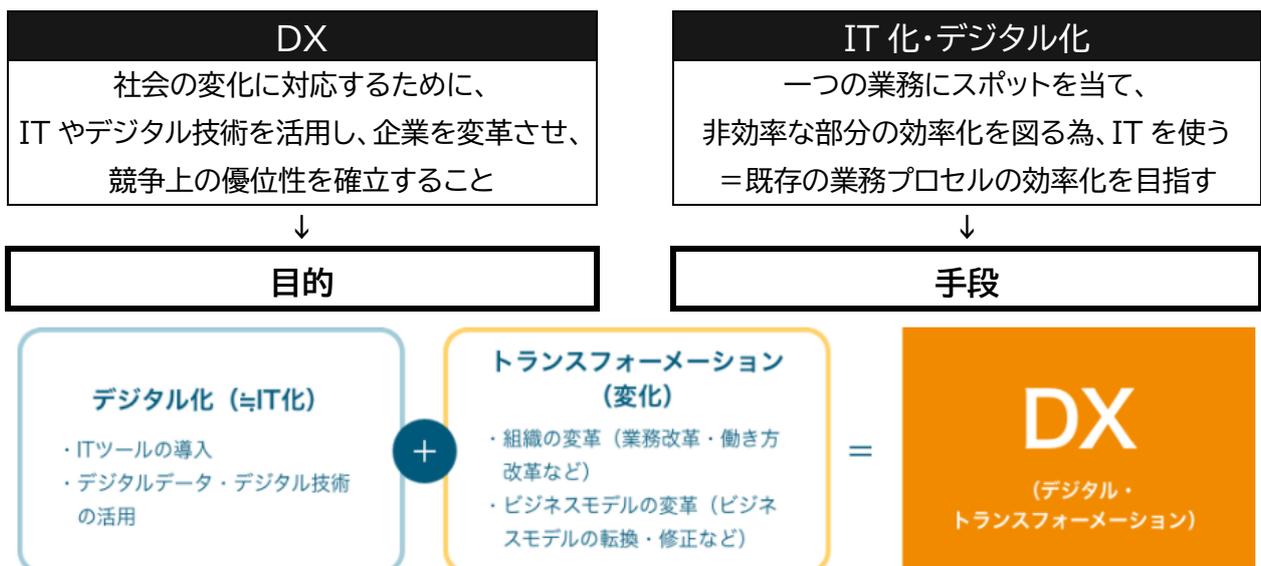
「DX」という言葉が誕生したのは、2004年のこととされています。最近の新型コロナウイルスの感染拡大で注目が集まり、一気に経営のキーワードになりました。しかしながら、「DXとは何なのか」、「IT化とどう違うのか」という方も多いと思います。経済産業省の説明は、以下になります。

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優勢を確立すること」

※DX推進指標（経済産業省）より抜粋

わかりにくいため、図に表してみました。



まずは、IT化から始めてみましょう。大野町商工会では、IT個別相談会を実施しています。

「自分でホームページを作りたい」、「ネットショップを作りたい」、「SNSの活用をしたい」、「ネットでの集客・販売促進方法を知りたい」など、誰かに聞きたいけどわからない...といったIT関連の相談について、専門家が事業全体や最近のトレンド等考慮した上で、アドバイスや指導を致します。ぜひご利用ください。